

平成 28 年度 事務事業評価(議会)
(平成 27 年度決算)

分科会評価結果

分科会名	厚生分科会			整理番号	厚生-2			
事務事業名	高齢者ファミリーサポート事業							
評価区分 (事務事業の方向性)	1	拡充	②	継続	3	終期設定し終了	4	休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、高齢者の生活援助を行いたい者（援助会員）と、生活援助を受けたい者（依頼会員）からなる会員組織として、高齢者ファミリーサポートセンターを設置し、地域で会員同士が相互援助し活動を行うことを支援することで、地域の高齢者の在宅支援を行い、高齢者福祉の向上を図るものである。

高齢者や、高齢者を介護する家族が、地域の中で安心して生活していくためには、家族の介護負担の軽減を図ることや、地域の住民同士が助け合うことが必要であり、援助会員の約 40%以上が 65 歳以上の高齢者でもあることから、援助会員の介護予防や社会参加、生きがいくくりにもつながる本事業の必要性は高いと認められる。

援助会員数、依頼会員数ともに、毎年度増加しているが、実利用者数は減少しており、ニーズに対するマッチングは十分とはいえない。高齢化社会の進展に伴い、依頼会員数の増加が見込まれる中、多様化する高齢者のニーズにきめ細かく対応するため、援助会員数の拡大を図る必要があり、事業内容、事業形態等の見直しを行うことを求め、継続とした。